

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 札幌医療秘書福祉＆ＩＴ専門学校

学科名：介護福祉科

授業科目名	単位数
人間の尊厳と自立	1
生活支援技術Ⅰ	6
合計	7

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	人間の尊厳と自立		
必修選択	必修	(学則表記)	人間の尊厳と自立		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	介護福祉科	1	30
使用教材	最新介護福祉士養成講座 1 人間の理解 最新介護福祉士養成講座 8 生活支援技術Ⅲ		出版社	中央法規出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	人間の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎を身につける。				
到達目標	介護を必要とする者に対する全人的な理解や尊厳の保持、自立支援など、介護実践の基盤となる教養豊かな人間性を身につけることができる。				
評価基準	筆記試験（小テスト含む）90% 授業態度 10%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 3 以上の者				
関連資格	介護福祉士				
関連科目	社会の理解 介護の基本Ⅰ 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ 介護過程Ⅰ・Ⅱ 障害の理解				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	藤井 歩		実務経験	○	
実務内容	看護師として総合病院 7 年勤務、 1 2 年間訪問看護師（看護師）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業概要と進め方、成績評価の方法など
2	人間の尊厳と利用者主体①	人間を理解すること 人間の尊厳という概念
3	人間の尊厳と利用者主体②	人間の尊厳と利用者主体
4	人権・福祉理念の変遷①	諸外国の人権・福祉理念の変遷
5	人権・福祉理念の変遷②	諸外国の人権・福祉理念の変遷

6	人権・福祉理念の変遷③	日本の人権・福祉理念の変遷
7	人権・福祉の理念①	ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン
8	人権・福祉の理念②	ADL から QOL、生命倫理
9	人権尊重と権利擁護①	利用者の人権と生活、利用者の権利侵害が起こる状況
10	人権尊重と権利擁護②	権利侵害の背景と権利擁護の視点
11	自立の概念①	いろいろな視点から見た自立
12	自立の概念②	自立と自律、自己選択・自己決定、
13	介護を必要とする人々の自立と自立支援①	ライフサイクルに応じた自立支援の考え方
14	介護を必要とする人々の自立と自立支援②	介護を必要とする人の尊厳の保持と自立支援
15	まとめ	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	生活支援技術 I		
必修選択	必修	(学則表記)	生活支援技術 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	介護福祉科	6	180
使用教材	最新介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I 最新介護福祉士養成講座 7 生活支援技術 II 最新介護福祉士養成講座 8 生活支援技術 III			出版社	中央法規

科目の基礎情報②

授業のねらい	尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する。		
到達目標	①「生活」とは何かを理解し、「生活」を支えるための必要な支援とは何かを理解することができる。 ②生活を支援するためには、様々な視点・アプローチがあることを学び、多様性のある利用者の生活を支援するために欠かせない柔軟な思考を育むことができる。		
評価基準	筆記テスト：60％ 実技テスト：30％ 提出物：10％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	介護福祉士		
関連科目	生活支援技術Ⅰ、生活支援技術Ⅱ、生活支援技術Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	大浦孝之	実務経験	○
実務内容	高齢者支援施設勤務（介護福祉士、介護支援専門員）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	自立に向けた移動の介護	安全で的確な移動・移乗介助の技法／ボディメカニクス、安楽な体位の保持、体位交換
3	自立に向けた移動の介護	安全で的確な移動・移乗介助の技法／ボディメカニクス、安楽な体位の保持、体位交換
4	自立に向けた移動の介護	安全で的確な移動・移乗介助の技法／歩行介助

5	自立に向けた移動の介護	安全で的確な移動・移乗介助の技法／車椅子介助
6	自立に向けた身じたくの介護	整容行動、衣生活を調整する能力のアセスメントと介助の技法／衣服着脱
7	自立に向けた身じたくの介護	整容行動、衣生活を調整する能力のアセスメントと介助の技法／衣服着脱
8	自立に向けた身じたくの介護	整容行動、衣生活を調整する能力のアセスメントと介助の技法／整容
9	自立に向けた身じたくの介護	整容行動、衣生活を調整する能力のアセスメントと介助の技法／口腔の清潔
10	自立に向けた身じたくの介護	整容行動、衣生活を調整する能力のアセスメントと介助の技法／口腔の清潔
11	自立に向けた排泄の介護	安全で的確な排泄の介助の技法／おむつ介助
12	自立に向けた排泄の介護	安全で的確な排泄の介助の技法／おむつ介助
13	まとめ	実技試験を実施する
14	まとめ	実技試験を実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う
16	自立に向けた食事の介護	安全で的確な食事介助の技法／視覚障害者への食事介助
17	自立に向けた食事の介護	安全で的確な食事介助の技法／認知症高齢者への食事介助
18	自立に向けた食事の介護	安全で的確な食事介助の技法／自助具の活用、脱水予防
19	自立に向けた排泄の介護	安全で的確な排泄の介助の技法／トイレ、ポータブルトイレ
20	自立に向けた排泄の介護	安全で的確な排泄の介助の技法／トイレ、ポータブルトイレ
21	自立に向けた排泄の介護	安全で的確な排泄の介助の技法／脊椎損傷の方への生活介助、自己導尿
22	自立に向けた排泄の介護	安全で的確な排泄の介助の技法／ストーマ造設後の生活介助
23	自立に向けた排泄の介護	安全で的確な排泄の介助の技法／尿器、差し込み便器

24	自立に向けた移動の介護	安全で的確な移動・移乗介助の技法／スライディングボード、リフト
25	自立に向けた移動の介護	安全で的確な移動・移乗介助の技法／スライディングボード、リフト
26	自立に向けた介護実践①	安全で的確な介護実践
27	自立に向けた介護実践②	安全で的確な介護実践
28	まとめ	実技試験を実施する
29	まとめ	実技試験を実施する
30	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う